

金を中心とする佐渡の遺産群

～目指せ、世界遺産登録～

金を中心とする佐渡鉱山の遺産群は2010年11月22日
世界文化遺産候補として世界暫定一覧表に掲載されました。



蘇る鉱山都市 黄金の佐渡国

現在、佐渡には安土桃山時代から江戸時代・明治・大正・昭和・平成元年までの、
金銀鉱山採掘の貴重な歴史的遺産群が残されています。
400年以上の繁栄によって育まれてきた島の文化も
各地で見ることができます。
それらを含め、保存・整備を進め、世界の、日本の、新潟の、
佐渡鉱山の歴史的財産として、
世界文化遺産登録を目指すものです。



鐘楼 Bell tower (国指定史跡)
時報を鐘でついで知らせた木造の鐘楼が、代官所と海を背景に佇んでいる。通り沿いには、レンガ作りの塀が往時の繁栄を物語る。



道遣坑 Doyu mining tunnel (国指定史跡・国重要文化財)
明治32(1899)年、「道遣脈」の開発を目的に開削された主要運搬坑道。今でもトロッコのレールが残っている。



北沢浮遊選鉱場 Kitazawa flotation plant(国指定史跡)
シツクナーと同時期に、隣接して建設された。最大で月間7万トンの鉱石を処理し、当時「東洋一」と言われた。



50メートルシツクナー 50meter thickener(国指定史跡)
直径50mの鉄筋コンクリート製で昭和13(1938)年頃からの金の増産体制時に建設された。泥状の鉱物を鉱物と水に分離する施設。



佐渡の芸能 Traditional entertainment
佐渡には、能(能舞台)・つぶろさし・のろまん形・文弥人形・佐渡おけさ・相川音頭・春駒・東太鼓(おんでこ)など数多くの芸能や祭りが残っている。



石切場 Quarry (国指定史跡)
上白の石材を切り出した石切り場の吹上海岸石切場と下白の石材供給の片辺・鹿野浦海岸石切場が海岸の岩場に遺跡として残っている。

黄金の島の歴史を未来へ繋ぐため、「佐渡市世界遺産推進基金」の寄付金を募集しています。
◆お問い合わせ、お申込み / 新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室 TEL:025-280-5726 佐渡市世界遺産推進課 TEL:0259-63-5136